

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2026

バズより、震え。～縦型ホラーナイト～開催決定

ホラー&サスペンス部門 最震賞supported by CRG 候補となる各最恐授賞作品を発表&上映!

**令和の特撮ヒロイン 平川結月×現代の鬼才 片山慎三×呪物の蒐集家 はやせやすひろ
映像・演技・怪異のプロが縦型ホラーの熱狂を語りつくす。**

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA) 2026」は、6月7日(日) 19:30-21:20にWITH HARAJUKU HALLで「バズより、震え。～縦型ホラーナイト～」を開催いたします。

URL <https://www.shortshorts.org/2026/event/horror/>

株式会社CRG協賛のもと新設され、1月～4月まで国内公募した「ホラー&サスペンス」部門には、「最恐」の縦型ショート(30～180秒)がSNSを通じて273作品が応募されました。

本イベントでは、応募作品の中でも優秀だった作品のクリエイターを最大5名:「月間テーマ賞」4名+共通テーマの「最恐賞」1名の作品を上映および発表・表彰します。

6月10日(月)の映画祭アワードセレモニーでは5名の作品の中から最高賞「最震賞 supported by CRG」が選出され、各賞受賞者は片山慎三監督、内田英治監督、深田晃司監督らが所属するCRGにて、SNSホラー映像作家として活動できる可能性が提供されます。

イベントには、戦隊・仮面ライダーシリーズを渡り歩く、令和の特撮ヒロイン 平川結月さん、『さがす』『ガンニバル』で映像表現の限界を突破、ポン・ジュノも認めた圧倒的演出力を持つ現代の鬼才 片山慎三さん、怪異と呪物に愛された現代オカルト界を牽引する蒐集家、都市ボーイズのはやせやすひろさん、株式会社CRG代表取締役社長の四宮隆史さんが登壇。

ホラーショートフィルムの中でも、縦型・30秒～180秒という短さならではの怖さについて解き明かします。

〈第二回 最震賞Supported by CRGとは?〉

共通テーマ:「#日常に潜む恐怖」

各月間テーマ:「#悪夢」「#恋に潜む恐怖」「#友情に潜む恐怖」「#仕事に潜む恐怖」

各月間テーマ受賞者4名および共通テーマ受賞者1名、計5名(※)の中から、独自の世界観を持ち、物語に惹き込む中毒性、最も震える怪異的な怖さがある作品へ、クリエイターエージェンシーCRGが贈る、最も心を震わす作品を称える賞。※受賞者は最大5名、該当なしの場合もあり



〈開催概要〉

■日時: 2026年6月7日(日) 19:30 - 21:20

■会場: WITH HARAJUKU HALL

■内容: 各賞の発表および上映、トークイベント

■ゲスト: はやせやすひろ(都市ボーイズ/呪物怪異蒐集家)、片山慎三(映画監督)、平川結月(俳優)、四宮隆史(株式会社CRG代表取締役)

■チケット: 【前売り】一般1,500円、大学生/U29/シニア/障がい者割引 1,200円
小学生・中学生・高校生 1,000円 小学生未満 無料

【当日券】一般1,800円、大学生/U29/シニア/障がい者割引 1,500円
小学生・中学生・高校生 1,300円 小学生未満 無料

URL: <https://www.shortshorts.org/2026/event/horror/>

【登壇ゲスト】



はやせやすひろ（都市ボーイズ）

呪物・怪異蒐集家岸本誠と怪奇ユニット「都市ボーイズ」として活動。いわく付き物件に10年以上住み、呪物を蒐集する。オカルトを取り扱った配信やイベント、メディア等に出演。稲川淳二の怪談グランプリ2017、2019年王者。



片山慎三（映画監督）

1981年生まれ。大阪府出身。中村幻児監督主宰の映画塾を卒業後、オムニバス映画『TOKYO！』（2008）のポン・ジュノ監督パート、ポン・ジュノ監督『母なる証明』（09）、山下敦弘監督『マイ・バック・ページ』（11）、『苦役列車』（12）、『味園ユニバース』（15）などに助監督として参加。監督、製作、プロデューサー、脚本、編集を担当した『岬の兄妹』（19）では、SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018 国内コンペティション最優秀作品賞、観客賞、日本映画批評家大賞 新人監督賞を受賞。各界の多くの著名人が絶賛し、異例のロングランを記録するなど、鮮烈な長編映画デビューを果たす。2022年、商業長編映画デビュー作となった『さがす』が公開され、日本映画監督協会新人賞、第47回報知映画賞監督賞、第14回TAMA映画賞 最優秀新進監督賞を受賞。さらに、チーフ監督として参加したDisney+オリジナル配信ドラマ『ガンニバル』が大きな話題を呼び、飛躍の年となる。近年では、『雨の中の慾情』（24）、Netflixシリーズ『ガス人間』（26）など話題作・注目作の監督を務めた。国内外の映画関係者からその才能を絶賛される、いま最も注目を集める新進監督の一人。



平川結月（俳優）

2001年10月27日生まれ。熊本県出身。スーパー戦隊シリーズ『王様戦隊キングオージャー』リタ・カニカ役を好演し、一躍脚光を浴びる。その後、ドラマ・舞台に加え、『サイ引越センター』のCMにも起用されるなど、多方面で注目を集めている。現在放送中の『仮面ライダーゼッツ』では、宮本紅覇／コードナンバー：シックス役で出演。初のカレンダー「平川結月CALENDAR 2026.4-2027.3」も好評発売中。



四宮隆史（株式会社CRG 代表取締役CEO／弁護士）

慶大卒。TVディレクターを経て、2003年に弁護士登録。福田靖、深田晃司をはじめとする映画監督・脚本家・小説家等のクリエイターエージェントージェンシー株式会社CRG（Creative Guardian）の代表を務めるかたわら、映画、音楽、放送、出版、広告等のエンタテインメントビジネス全般のリーガルサービスを提供するE&R総合法律会計事務所、『あゝ、荒野』『月』『ミッシング』等の映画祭受賞歴のある映画を多く企画製作する株式会社スターサンズ、映画監督の是枝裕和や西川美和らを擁する映像制作集団「分福」の代表としても活動。

株式会社CRG（Creative Guardian）

映画、連続ドラマ、コミック、小説など、多岐にわたるジャンルの創作活動をサポートするクリエイターエージェントージェンシー。数多くのエンタテインメント作品を世に送り出してきた経験を活かし、新たなストーリーの創造によって、人の心を動かし、社会の仕組みや様々な環境（生活環境、ビジネス環境）に変革をもたらしたいと考えています。才能豊かなクリエイターやアーティストのネットワークを一層拡大し、その才能をフル活用して、世界中が笑顔と好奇心に満ちあふれるような骨太のエンタテインメント作品を生み出すべく、「聖域なき創造」を追究していきます。

<https://www.crg.jp/>



【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2026 概要】

■開催期間：

5月25日（月）オープニングセレモニー

5月26日（火）～6月9日（火）東京会場

6月10日（水）アワードセレモニー

※オンライン会場は 5月25日（月）～6月30日（火）

（期間により配信プログラムが異なります。）

■上映会場：MoN Takanawa: The Museum of Narratives

（Box1000、Tatami、パークテラス）

赤坂インターシティコンファレンス、ユーロライブ、

WITH HARAJUKU HALL、LIFORK HARAJUKUほか

※会場により、期間、プログラムが異なります。

■チケット：

【前売り】一般 1,500円、大学生 /U29 /シニア/ 障がい者割引 1,200円

小学生・中学生・高校生 1,000円 小学生未満 無料

【当日券】一般 1,800円、大学生 /U29 /シニア/ 障がい者割引 1,500円

小学生・中学生・高校生 1,300円 小学生未満 無料

【パスポート】一般 7,000円、学生 /シニア/ 障がい者割引 5,500円

【オンライン会場】2,500円（日本国内） / 15米ドル（日本国外）

※オンライン会場のパスポートは5/25から販売開始

■一般からのお問い合わせ先：info@shortshorts.org

■オフィシャルサイト：<https://www.shortshorts.org/2026>

■主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会



【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

SHORTSHORTS

FILM FESTIVAL & ASIA

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。

また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生。現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、ライブアクション部門（インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパンの各カテゴリー）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】<https://www.shortshorts.org>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：阿部・武田 TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / E-mail：SSFF@ssu.co.jp

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 / E-mail press@shortshorts.org

【本資料に関する画像については、下記よりダウンロードいただけます】

<https://drive.google.com/drive/folders/1U5YR473DJH6tM-B-gObDqWy5j0ZS1Kk?usp=sharing>